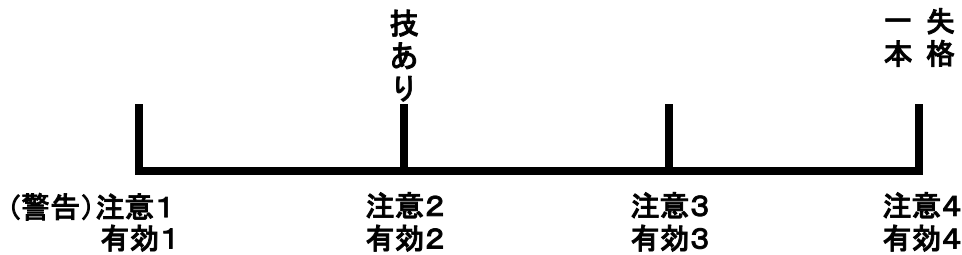


国際空手道連盟 ポイントルール

※ 初級のみ チェストガード着用(主催側用意)



(警告)

- ・主審が単独で取ることができます。
- ・警告は次に反則をしないようにながすもので、ポイントには関係ありません。

(注意)

- ・顔面への突きがあった時は、即注意1となります。
- ・警告をもらいながら 掴み・押し などの反則を繰り返したとき。

(有効)

- ・上段への蹴りが入った時は、強弱関係なく有効となります。
- ・中段へ強く腰の入った 突き・蹴り が入ったとき。
- ・ノーガードの状態 で 突き・蹴りの連打が入ったとき。
- ・足掛け下段突きを決めたとき。
- ・前蹴り等が入って腰から落ちたとき。

(技あり)

- ・突き 蹴りをもらって瞬間ダメージがあったとき。

(一本)

- ・突き 蹴りをもらってダメージが3秒以上あったとき又はダウンしたとき。

*** 上級の部は通常の国際空手道連盟ルールで行います。**